



講演会アンケート結果報告

テーマ：「探究活動のすすめかた」～探究活動を楽しもう～

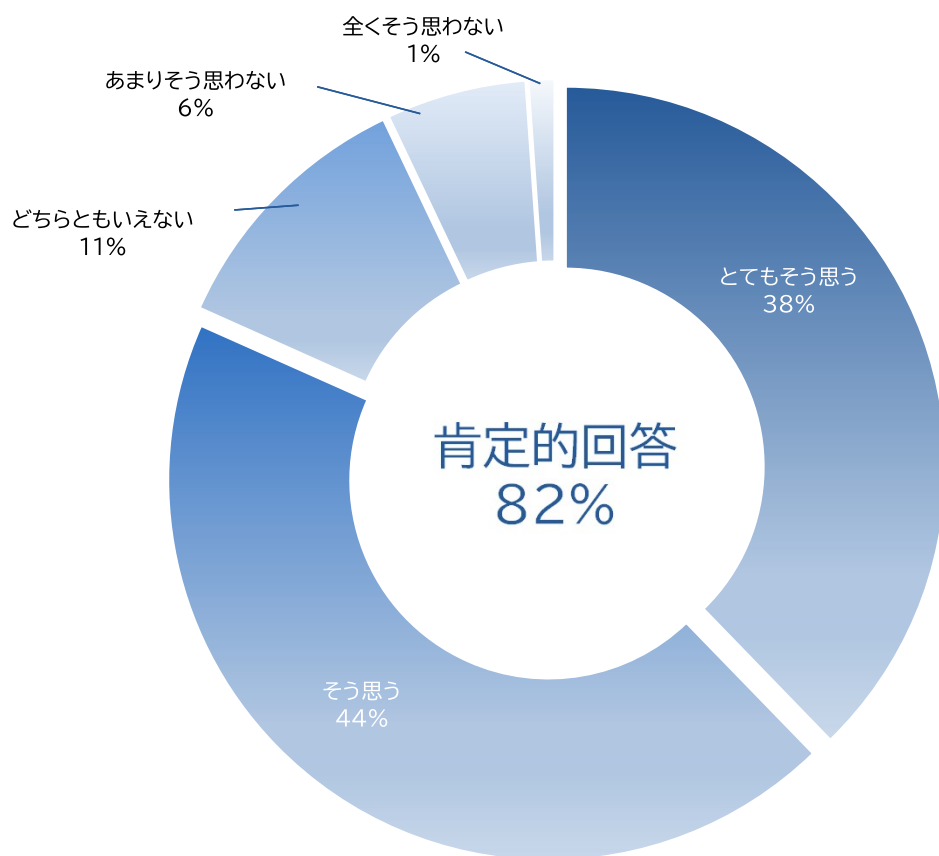
対象者：全校生徒493名（有効回答数453名）

実施日：令和8年7月9日（木）

学校名：青森県立五所川原高等学校

設問1【科学への興味関心】

今日の講演をきっかけに、科学や身の回りの現象に興味がわきましたか？

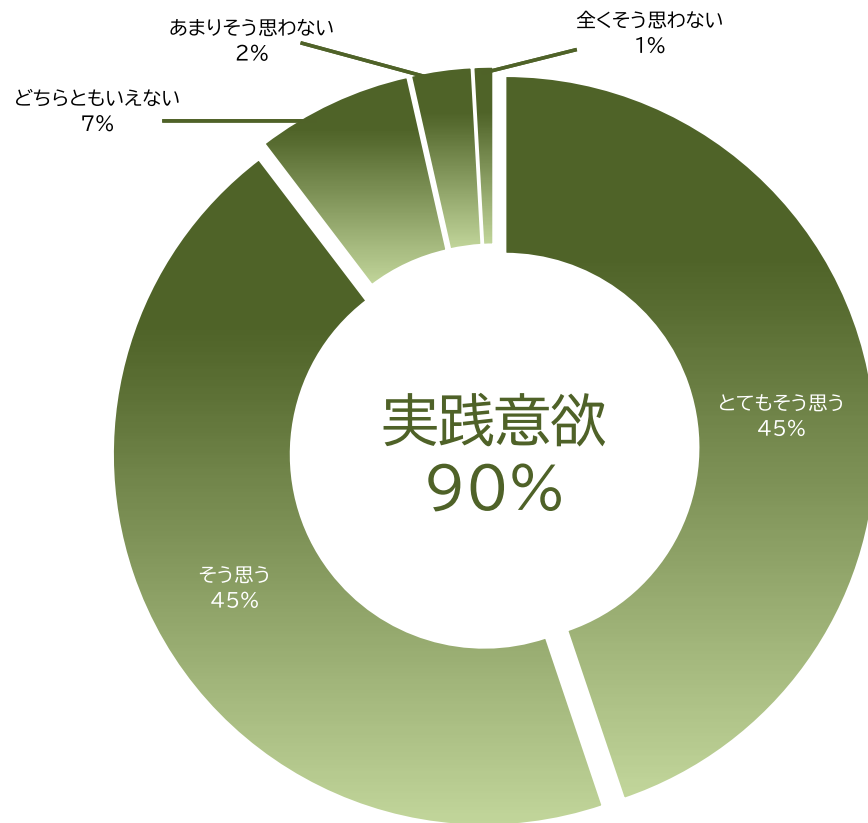


【科学的探究の「入り口」としての有効性】

- ▶ 回答者の8割以上が、講演を機に科学や身の回りの現象に対する興味を強めている。
- ▶ 講演内容が単なる学術的な知識の提供にとどまらず、生徒たちの「日常を見る解像度」を上げることに成功したことを示している。

設問2【探究を実践する力】

興味をもったことについて、自分で調べたり行動に移したりしてみたいと思いましたか？

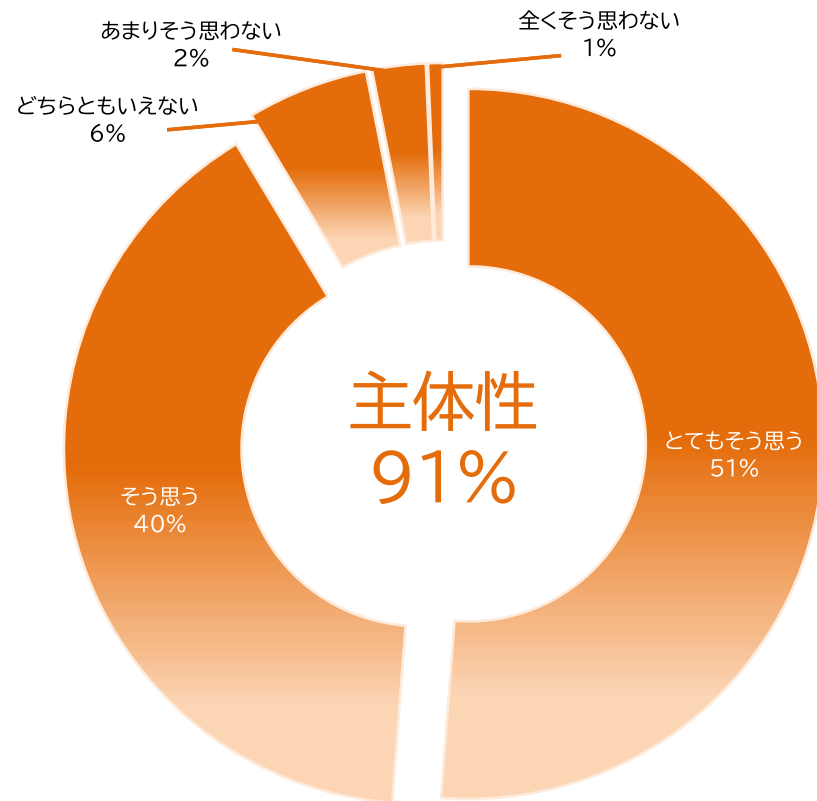


【圧倒的な行動意欲と実践へのステップ】

- ▶ 「とてもそう思う」と「そう思う」が全く同数で並び、合計で90%に達している。
- ▶ 設問1の「興味」が、単なる受動的な感想で終わらず、自ら動きたいという「能動的な実践意欲」へと強力に転換されている。

設問3【情報収集力】

必要な情報を、自分で探して集めてみようと思いましたが？

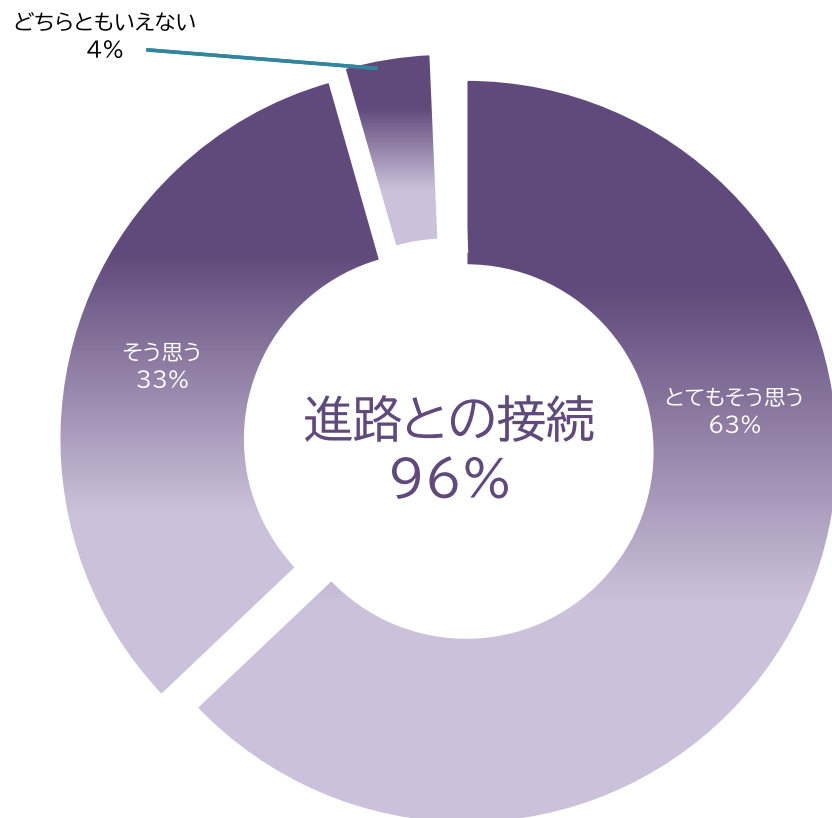


【情報の「能動的な取得者」への変容】

- ▶ 「とてもそう思う」が半数を超え、全設問の中で2番目に高い肯定率を示している。
- ▶ 講演を通じて、「情報は与えられるものではなく、自ら獲得しにいくもの」というマインドセットの変容が起きている。

設問4【将来の進路】

「学ぶこと」が、自分の将来や進路につながっていると感じましたか？

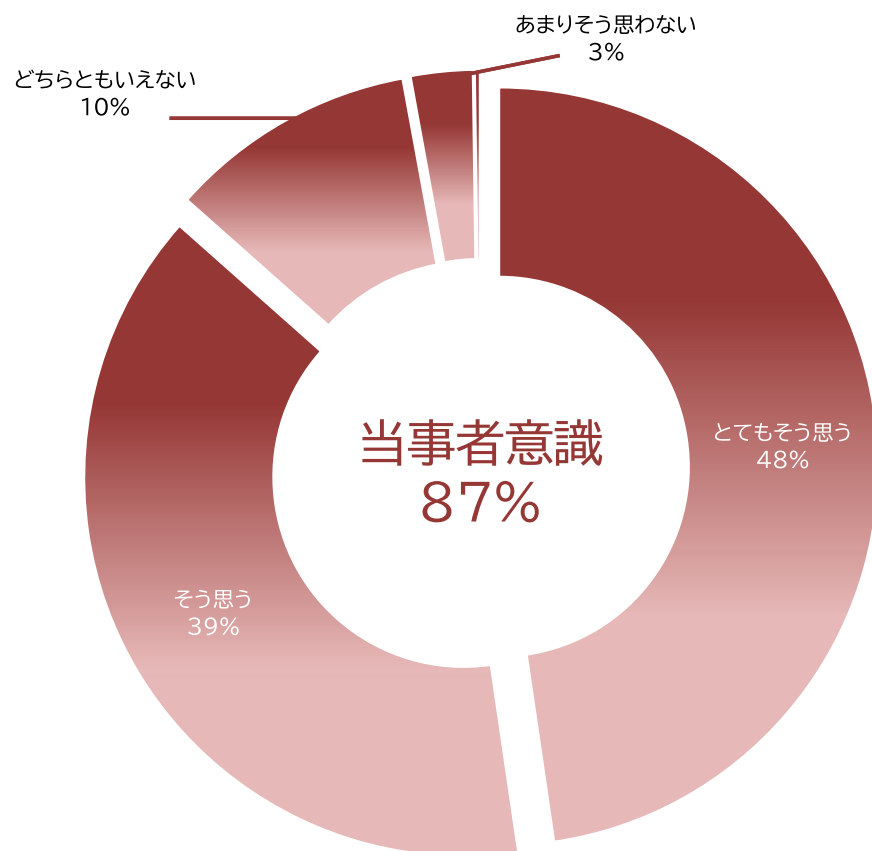


【日々の学習とキャリアの強固な結びつき】

- ▶ 肯定的な回答が96%となり、「とてもそう思う」が全設問中で最も高い63%を記録した。
- ▶ 生徒の多くが「現在の探究活動や日々の学習」と「将来のキャリア」の間に存在していた分断を乗り越え、両者が密接にリンクしていることを理解した。

設問5【課題意識】

身の回りのことについて、「もっとよくしたい」「解決したい」と感じましたか？



【身近な課題に対する当事者意識の芽生え】

- ▶ 約87%の生徒が、身の回りの課題に対する解決意欲を示している。
- ▶ 講演で「身近な疑問でいい」「社会問題をニーズとして捉える」というメッセージが、生徒たちに「自分も社会を良くする当事者になれる」という感覚を与えた。